

# 2014 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	教職科目
-----------	------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

教職科目では、95%（昨年度春学期 97%）の実施率であった。回答率は、86.7%（昨年度春学期 84.5%）であり、他の科目区分とほぼ同様の回答率である。

春学期の教職科目と比較すると、全体的な傾向として、以下 3 点が挙げられる。

- (1) 学生の授業内容理解度、授業中の意欲的な活動、知的好奇心、教員の話し方、授業方法、授業内容とシラバスの一致、教員の授業に対する配慮に関する項目はいずれも平均値 4.4 を超え、全体的にかなり高い。特に、授業時間以外の学習という項目以外では、いずれも評点が 5 の割合が最も高く、すべて 5 割を上回っている。これは、昨年度春学期を上回っている。
- (2) 今回、授業時間以外の学習時間を一週間に何時間学習したのかを明確し、全学平均と比較したグラフが新たに提示されている。とてもわかりやすくなった。教職科目の学習時間が 0.62 時間であり、全学平均よりも低い。内訳として、0 分が 39%(昨年度春学期 32.2%) 30 分が 32.2%（春学期 35.2%）となっている。昨年度春学期とほぼ同じ傾向を示すが、教室以外での学習時間がやや減少している傾向が見られる。
- (3) DWCLA10 の選択率は、思考力、コミュニケーション力、分析力がそれぞれ、61.2%(昨年度春学期 59.9%)、34.4%（昨年度春学期 40.7%）であり、34.3%(昨年度春学期 32.2%)プレゼンテーション力が 28.6%(昨年度春学期 32.3%)であった。

教職科目は、ほぼ春学期とほぼ同じ傾向を示している。引き続き、Active Learning や質の高い教師を育成するための取組を実施してほしい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。